

アデノウイルス感染症



○どんな病気？

アデノウイルスは乳幼児の呼吸器系ウイルスの代表的なウイルスです。アデノウイルスの中にはたくさんの型があり、特にヒトに感染するウイルスは51種類あります。つまり、同じアデノウイルスでも多くの型があるため、出てくる病状も多彩です。家族間での感染に注意しましょう！

○感染経路は？

・飛沫感染・糞口感染（下痢をしていなくても便に注意！）・接触感染 予防には手洗いはとても大切です。

○潜伏期間：5～7日間

○治療：今の段階で特効薬はありません。症状に対する薬を処方します。
自然治癒力を高め、安静第一の治療に取り組みましょう。

○多彩な症状（ウイルスの型によって、いろいろな症状を認めます）

・咽頭炎、滲出性咽頭炎：アデノ1, 2, 3, 5型によることが多いです。

・肺炎：アデノ3, 7, 21型。特に7型は重症例が多いです。

・咽頭結膜熱：アデノ3型が多いです。

・流行性角結膜炎：いわゆる「流行り目」です。アデノ3、8、19型に多いです。「目のゴロゴロ・ショボショボ、異物感、光がまぶしい」などは角膜炎の可能性もあります。眼科受診をおすすめします。発熱はないことが多いです。

・胃腸炎：アデノ40、41型に多いです。乳幼児に多く、発熱、腹痛、嘔吐、下痢を認めます。ときおり、白い便を認めることができます。便の迅速検査で診断できます。感染予防として保育者の手洗いが大切です。

・急性出血性膀胱炎：肉眼的血尿（真っ赤なおしっこで、肉眼でも血尿とわかる）を認めるなどで気づかれることが多いです。発熱は伴わず、膀胱炎症状は2～3日で落ち着き、尿所見も2週間以内に改善します。



さくらキッズくりにっく
sakura kids clinic

よくあるQ&A



Q.保育園や学校には行けますか？

A.アデノウイルスが原因で起こる咽頭結膜熱や流行性結膜炎(はやり目)は、現在文部科学省が学校伝染病と指定している「第2種伝染病」の中に含まれるので、**登園/登校停止**となります。

Q.いつ頃から登園/登校できますか？

A.症状が治まってから2日以上経過すると登園/登校できます。胃腸炎症状がある場合は、食事が摂れるようになり下痢の回数が少なくなれば登園/登校できるようになります。

※登園/登校許可証が必要な場合には、再度受診してください。

Q.高い熱が続いている。解熱剤は使ってもいいですか？

A.決められた量と回数を守って使用しましょう。熱が3日以上続く場合は再度受診してください。

Q.のどの痛みや熱で食欲がないときは、どうしたらいいですか？

A.プリンやゼリー、アイスクリーム、おかゆ、うどん、スープ、豆腐などの食べやすい物を食べさせてください。胃腸症状がなければ、消化の良いものであれば好きなものを食べさせて大丈夫です。

Q.水分補給はどのような物がいいですか？

A.麦茶やイオン飲料、お味噌汁などがおすすめです。下痢がなければ、牛乳もよいです。のどの痛みが強く、水分があまり摂れなかったり、元気がなくてぐったりしているときは、再度受診してください。

Q.お風呂は入れてもいいですか？

A.高熱のあるときや元気がないとき以外は入ってもかまいません。熱が あってもシャワーは浴びても大丈夫です。



さくらキッズくりにっく
sakura kids clinic